

9・11以後の世界×障害者の性 **入場無料**

『ドキュメンタリー映画とは何か?』—佐々木誠監督作品映画上映

プログラム

- 1.映画「Fragment」(93分/'06年制作)
- 2.休憩(15分)
- 3.映画「マイノリティとセックスに関する2、3の事例」(24分/'07年制作)
- 4.トークイベント(30分～60分予定)
「佐々木誠×森村修(法政大学教授)」
- 5.懇親会



松山ケンイチ
(俳優)

『言葉にできない
ものに必死に向き
合っている作品』

Fragment

「9.11」をまったく別次元の断片として捉えた異色のドキュメンタリー。
元タレントの若き僧侶がグラウンドゼロで祈禱する為、死をも厭わない荒行に挑戦する…。
これはパロディなのか、シリアスなのか?国内外で物議を醸し出した問題作。



『マイノリティとセックスに関する2、3の事例』
セックスに問題を抱えるスケボー少年が身体障害者モンマ、アメリカ人旅行者クリスティと出会う。
ドキュメンタリーの概念をぶち壊した過激な青春映画。

佐々木誠【映画監督/映像ディレクター】

'75年生まれ。ソニーミュージック・エンタテインメントを経てフリー。'06年ドキュメンタリー映画「Fragment」、'07年「マイノリティとセックスに関する2、3の事例」がロードショー公開され、共に海外上映も含め3年以上のロングランとなり話題を呼ぶ。最近ではハリウッドで制作された「パイオハザード5」ピハイインドシーン監督、紀里谷和明監督「GOEMON」脚本協力など。

6/19(土) 14:00~

場所 **法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎6階「薩埵ホール」**
お問い合わせ **法政大学国際文化学部 森村研究室**
☎03-3264-4791(留守電あり)
法政大学国際文化学部企画

